



青森県発明協会では、公益財団法人むつ小川原地域・産業振興財団の支援を受けて小さな子どもでも簡単に作れる工作や、身近な材料を使ったマジックなどをおして科学やものづくりへの興味を引き出すことを目的として「初めての科学体験授業」を実施しています。

9月10日(木)、十和田市の第二白菊保育園で第3回目の授業を実施しました。

今回は、19名の園児のみなさんが参加し、光るおもちゃの工作です。ニクロム線をねじったり、電池ケースやLEDを両面テープで貼ったり、少し難しいようでしたが、全員完成させました。



ろうそくもみなさんの目もキラキラでした。



まずは、ごあいさつ。
少し緊張してるかな？



工作の説明を真剣に聞いています。



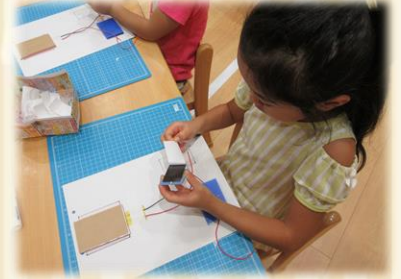
最初は、炎の部分に
色のついた紙をはります。



ちょっとだけ、先生もお手伝い。



むずかしいかな？



つぎは、スイッチのところです。
両面テープではります。



はるところは、
この辺でいいかな・・・



磁石のマッチなので、安全です！！



ニクロム線を
セロハンテープではります。

みんな、ひかって大成功！

